

五島慶太「五島慶太書簡」昭和19（1944）年4月18日

十二日付御念書

難有拝見仕候。

此度之人事に

就ては測らすも御称

讚を辱うし、大に意を

強く致候。毎々被為懸

御心、忝く深く感佩

まかりあり

罷在候。御来示之御趣

旨は其都度

味読罷在候次第、

なにとぞ

何卒此上とも御心添

こいねがいあげそうろう

冀上候。紙墨不_{いをつく}尽

さず

意、委細期御面晤。ごめんごをこす

とりあえず

不取敢厚く御礼申上候。

なおなお

尚々御所勞之趣、

不順之時候にも有之

御加餐切に禱上候。敬具。

四月十八日

五島慶太

伊澤多喜男閣下